



シマフクロウとは?

シマフクロウを動画で見てみよう



かつては北海道中に1,000羽ものシマフクロウが暮らしていたといわれています。今では、およそ170羽(2019年現在)一部の地域にごく少数がひっそりと暮らしています。

私たちとどんな関係があるのでしょうか。

その理由を知るには、シマフクロウのことをよく知る必要があります。

どんな鳥?

蝦夷が島(北海道)のみに住む鳥(島鳥)。日本の天然記念物。国のレッドデータブックで絶滅危惧種IA(最も危惧)に指定。



必要な環境

シマフクロウにとって川は移動のための「道」。川沿いの森は、生活のための「家」。



どこに住んでいるの?

北海道の針葉樹と広葉樹が入り混じった森に生息しています。



なぜ減ってしまったの?

明治政府による北海道の植民地化で大規模に森林が伐採され田畑に変わり、シマフクロウをはじめとした沢山の生き物の食・住・道が激減したからです。



地域のみなさまへ

いつも温かいご声援をいただきありがとうございます。

シマフクロウが住むための森や魚が沢山いる川が減り続けるなか、町民の皆さまの環境保全活動には思いやりと未来を感じます。

どうかシマフクロウと地域の環境を守る取り組みもご参加をお願い致します。

地域の防災や基幹産業の資源保護、子供たちの郷土愛育成にもつながる活動に、どうぞご協力ください。

1 ボランティアスタッフに参加

広報や出前授業をお手伝いいただけるボランティアスタッフを随時募集しています。

2 出前授業を申し込む

身近な生き物とお話しする方法を学び、シマフクロウを支える森から海までの大きなありがとうのつながりを増やす方法を生徒自らが考えます。地域づくりにつながる学習を認定NPO法人アサザ基金と協働で実施しています。



3 森づくりに参加

地域の水を育む森づくりに参加しませんか。森に親しむワークショップも予定しています。

5 寄付をする

守りたい寄付

シマフクロウの行動調査や生息地パトロール代になります
対象/調査研究 用途/車両、燃料、機材
5,000円で約1回の調査車両・燃料代

おさかな寄付

シマフクロウの繁殖を補助する活魚購入代になります
対象/給餌 用途/活魚購入
3,000円で成鳥2羽約2日分の食事代

キッズ寄付

次世代を担う子供たちへ出前授業を実施する費用になります
対象/教育 用途/授業準備
3,000円×10で授業1回分の教育準備費

ささえたい寄付

当活動の運営を支え活性化する費用になります
対象/運営費 用途/運営
10,000円でひと月分の通信費

詳しくはサイトをご覧ください。



6 サポーターになる 特典: シマフクロウと活動の旬を伝える会報をお届けします。

サポーターの種類	年会費	対象
サポーター	3,000円	シマフクロウ・エイドの目的に賛同し、その活動を支援する個人の皆様。
スペシャルサポーター	1口 10,000円	シマフクロウ・エイドの目的に賛同し、活動を資金面においても支援する個人の皆様。
オフィシャルサポーター	1口 30,000円	シマフクロウ・エイドの目的に賛同し、その活動を支援する法人・団体の皆様。職場のグループや趣味のサークルなど法人格を持たないグループでもご入会いただけます。

詳しくはサイトをご覧ください。



お振込先

詳しくは事務局までお問い合わせください
0153-65-2183

郵便振替

口座番号: 02770-0-65749
加入者名: NPO 法人シマフクロウ・エイド
●通信欄にサポーターの種類、寄付の種類をご記載ください。

大地みらい信用金庫 浜中支店

口座番号: 普通口座 1030117
名前: NPO シマフクロウ・エイド
理事 菅野正巳

ゆうちょ銀行

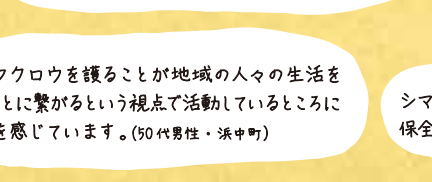
記号: 19200 番号: 81131
名前: トクヒ)シマフクロウエイド
●お振込み後、email、電話などで振込み内容をご連絡ください。

サポーターさまの声

シマフクロウを護ることで沢山のことが見えてきます。これからの酪農・環境保全。少し意識して日々の生活を送るようになりました。農作業の合間に眺める森に思いを馳せると、なぜか分かち合う気持ちが生まれてくる。全ては繋がっているんですね。
(30代男性・浜中町)



いつかは北海道全域でシマフクロウの姿が見られる素晴らしい時代が来る事を信じて活動を応援しています!
(40代女性・札幌市)



シマフクロウを護ることが地域の人々の生活を守ることに繋がるという視点で活動しているところに魅力を感じています。
(50代男性・浜中町)



シマフクロウを指標にした地域の環境保全に力を入れていますね。
(60代男性・浜中町)



シマフクロウを指標にした地域の環境保全に力を入れていますね。
(60代男性・浜中町)

NPO法人 シマフクロウ・エイド

〒088-1364 北海道厚岸郡浜中町茶内若葉 2-36

Tel・Fax 0153-65-2183 Email: office@fishowlaid.jp

さらに詳しい内容はホームページをご覧ください。

<https://fishowlaid.jp/>

シマフクロウエイド

検索

シマフクロウからのお願い

- 1 繁殖期はぜったいに巣に近づかないで!
- 2 ゴミのポイ捨ては今日からやめて下さいね!

- 3 海も汚れるから山奥や川に危険物をぜったいに捨てちゃダメだよ。
- 4 川沿いの旗が架けられているところは、低速で車を走行してください。

さらに詳しい内容はサイトをご覧ください。



払込取扱票	
00 小樽	振替払込請求書兼受領証
口座記号番号	02770-0-65749
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
NPO法人シマフクロウ・エイド	料 金
<input type="checkbox"/> (年会費) <input type="checkbox"/> サポーター 3,000円 <input type="checkbox"/> スペシャルサポーター 1口 10,000円 <input type="checkbox"/> オフィシャルサポーター 1口 10,000円(3口〜)	備考
<input type="checkbox"/> (寄付) <input type="checkbox"/> 守りたい(円) <input type="checkbox"/> お魚(円) <input type="checkbox"/> キッズ(円) <input type="checkbox"/> ささえたい(円)	おなまえ
(寄付者の氏名 会報等へ掲載確認) 掲載を許可 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	ご依頼人
おところ(郵便番号)	日 附 印
おなまえ	様
(電話番号)	日 附 印

切り取らないでください。記入欄を訂正した場合はその箇所に訂正印を押ししてください。



シマフクロウも人も喜ぶ地域づくり

シマフクロウ・エイドとは・・・

個人、企業、行政、団体等の協力や支援のもと、シマフクロウと共存の未来を進めるNPO法人です。

エイドには支える・支援するという意味があります。図のように「知る・守る」ことを通して得た成果や課題を、環境教育や広報などを通じ地域や社会に「伝え」、皆様からのご支援を原資に保護保全を推進をしています。その結果、外側に掲げた目標が達成されていく事を目指しています。



ゴールに向けて・・・

- 陸～海、人をつなぐ 森林生態系の保全
- シマフクロウの 保護・保全
- 人もシマフクロウも 喜ぶ地域づくり

かつてのようにシマフクロウが北海道中の森に暮らす姿、それが私たちの活動のゴールです。

代表メッセージ

地域を潤しシマフクロウの未来も作る取り組み

シマフクロウは100年前頃、北海道中に1000羽近く生息していたと想像されています。しかし開拓と急速な開発で1970年代には70羽まで激減し、1984年から研究者や国の保護事業が始まりました。現在数百羽まで回復しましたが未だ絶滅危惧種に指定されています。「北海道の自然ってすばらしい」とよく称赞されますが、シマフクロウの視点ではどうでしょう？実は、緑の回廊の分断や森や川の生き物の減少で困っていることが沢山

NPO法人シマフクロウ・エイド 代表
菅野 正巳

1961年東京生まれ。1992年アメリカ放送 ABC News 東京支局退職後、北海道厚岸郡浜中町へ移住。1993年～環境庁(当時)委託シマフクロウ保護調査員、北海道森林管理局自然保護管理員、2004年山形県環境研究所調査員、2007年～、環境省委託鳥獣害防除調査員、2008年 NPO法人シマフクロウ・エイド 代表理事就任。2015年～、国指定鳥獣保護員

あります。生息環境の保全には、その土地に暮らす地域の協力が不可欠、そう強く思うようになりました。シマフクロウは地域の生態系の頂点です。先住民アイヌの人々からは村を守る神として大切にされたことから身近な鳥だったことがわかります。彼らの暮らしやすさを指標とした地域の環境保全は、酪農や漁業など一次産業に不可欠な環境全体の回復になり、地域もシマフクロウも潤す未来につながると実感しています。



シマフクロウへの支援

守る活動と伝える活動の一部をご紹介します。持続可能な地域創生、生物多様性保全につながる取り組みです。

さらに詳しい活動内容はサイトをご覧ください。



モニタリング調査

分散した若鳥の生息環境の保全が課題となっています。そこで初の補助給餌の実態調査を24時間体制で実施しています。成果を若鳥の自立を促す保護対策に活用する予定です。



菅野代表 ことば

動画の調査はシマフクロウにストレスを与えないため、様々なことを改めて教えてください。

森づくり

シマフクロウの将来の生息地づくりのため、根付く広葉樹の植林を検証しています。河畔林や水源林の保全は、地域の生態系の回復にもなります。



Staff Voice

長年観察を続けてきたシマフクロウのつがいから、これまで二十羽以上のヒナが巣立ちました。安定して暮らせる環境づくりが次なる課題

食糧支援(補助給餌活動)

川魚が少ない流域で生息するつがいには、国が給餌池を設置し繁殖支援をしています。私たちが携わる1給餌池では、活魚代を随う寄付を募集し現状や課題も伝えています。



ちょっと知識 食事は、1日2,000円!?

成鳥1羽1日に食べる活魚は約4本。1本約120円。ヒナが孵ると親子4羽で1日2000円。1か月で6万円!

環境教育

シマフクロウをテーマに、身近な生き物や一次産業との関わりを学び直し、持続可能な地域づくりを提案する学習を実施しています。



Staff Voice

子どもたちは、この授業を通じて、森と海が繋がっている事に驚きます。あたりまえにある地域のお宝を発見します。

ぼくたちは、こんな環境が好き！
そこにはいろいろな生き物が住んでいて、魚が主食だけど昆虫や小動物など季節ごとに様々な生き物を食べて生きているんだよ。

大木がある。

川や河畔林は「家」や移動の「道」になっているよ。

川の両側に最低150m以上の河畔林がある。

シマフクロウを守ることは森を守ること。
地域に必要な環境が持続的に守られることにつながります。

シマフクロウも人も喜ぶ地域づくりがもたらすもの

シマフクロウを環境のバロメーターとした地域の自然再生は、様々なメリットをもたらします。

第一次産業には・・・

- ミネラルの元となる落葉広葉樹を主体とする森林生態系の保全となります。持続可能な資源の保護を担保します。
- 生産物の新たな付加価値を生み出します。(環境に配慮した産品、SDGs関連品)



子どもたちには・・・

- 出前授業を通じて子どもたちが地域の特色を理解し、地域で生きる価値や意味を自ら見出し、豊かに生きる力を身につけます。その結果、環境保全や、地場産業の活性化、持続可能な地域づくりの担い手育成に貢献します。



私たちの暮らしには・・・

- 「森林」を入りに、地域の内陸と沿岸、大人と子供の対話やつながりが促されます。
- 森林がしなやかな防災、減災機能を発揮します。



ぼくたちが安心して住める環境は人の暮らしのためにも大事なことがたくさん!



(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
課税相当額以上
貼付
印

① お振り込みいただける合計金額を記入してください。

② ご希望の寄付・サポーターの項目およびご氏名掲載の許可にチェックを入れてください。

③ あなたの郵便番号・住所・お名前・電話番号を記入してください。

④ あなたのお名前を記入してください。

この場所には、何も記載しないでください。